

■米国：加州南部の大規模停電は系統運用者のコミュニケーション不足が原因か

2011年9月23日付の業界紙では、2011年9月8日にカリフォルニア州南部他で起きた大規模停電の原因は各地域の系統運用責任者のコミュニケーション不足ではないかと報じている。この停電はカリフォルニア州南部、アリゾナ州等広範囲に及び700万人以上に影響した。この報道によると、カリフォルニア州公益事業委員会（CPUC）の担当者は「今回停電が起こった地域の系統運用責任者が近隣地域で何が起きているかを認識せず、適切な処置ができなかったため停電地域が拡大した。」と述べている。一部報道ではアリゾナ・パブリック・サービス社（本社：アリゾナ州）の作業員によるヒューマンエラーが停電の原因と報じられているが、同担当者は「たとえミスで50万V送電線を切断したとしても、別ルートでの電力輸送は可能であり、作業員のミスを広範囲に及んだ停電の原因とすべきではない。」との認識を示した。